

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

|              |   |   |
|--------------|---|---|
| 商品分類         | 追加型投信／海外／株式   |   |
| 信託期間とクローズド期間 | 原則として無期限です。<br>クローズド期間はありません。   |   |
| 運用方針         | 中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うことを基本とします。  |   |
| 主要投資対象       | モーリシャス籍円建て外国投資法人「Shinsei UTI India Fund (Mauritius) Limited」Class A投資証券   | 主として、インドの証券取引所に上場する株式等を投資対象とします。ただし、直接投資に加えて、預託証券を用いた投資等を行うことがあります。 |
|              | 証券投資信託「新生 ショートターム・マザーファンド」受益証券  | 主としてわが国の短期公社債および短期金融商品等に投資します。                                      |
| 投資制限         | <p>①投資信託証券、短期社債等およびコマースナル・ペーパー以外の有価証券への直接投資は行いません。</p> <p>②同一銘柄の投資信託証券への投資は、当該投資信託約款または規約においてファンド・オブ・ファンズにのみ取得されることが記載されている投資信託証券については、信託財産の純資産総額に対する同一銘柄の時価総額の制限を受けません。</p> <p>③株式への直接投資は行いません。</p> <p>④外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。</p> <p>⑤外貨建て有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。</p> <p>⑥同一銘柄の投資信託証券への投資割合は、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会の規則に定めるエクスポージャーがルックスルーできる場合に該当しないときは、投資信託財産の純資産総額の10%以内とします。</p> <p>⑦一般社団法人投資信託協会の規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</p> |   |
| 分配方針         | 毎決算時に、委託者が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わない場合があります。  |   |

# 新生・UTIインドファンド

## 運用報告書（全体版）

第12期（決算日 2018年12月10日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「新生・UTIインドファンド」は、去る2018年12月10日に第12期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



東京都中央区日本橋室町2-4-3

ホームページアドレス <http://www.shinsei-investment.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先  
投資信託部

電話番号 03-6880-6448

受付時間 営業日の9:00~17:00

## ○最近5期の運用実績

| 決算期              | 基準価額   |    |      | 参考指数   |       | 債組入比率 | 券率   | 投資信託組入比率 | 純資産総額 |
|------------------|--------|----|------|--------|-------|-------|------|----------|-------|
|                  | (分配落)  | 税金 | み騰落  | 騰落     | 騰落    |       |      |          |       |
|                  | 円      | 円  | %    |        | %     | %     | %    | %        | 百万円   |
| 8期(2014年12月10日)  | 14,082 | 0  | 68.4 | 15,077 | 51.8  | 0.3   | 98.2 | 29,945   |       |
| 9期(2015年12月10日)  | 13,866 | 0  | △1.5 | 13,042 | △13.5 | —     | 98.1 | 25,842   |       |
| 10期(2016年12月12日) | 13,981 | 0  | 0.8  | 13,469 | 3.3   | —     | 98.7 | 22,489   |       |
| 11期(2017年12月11日) | 18,849 | 0  | 34.8 | 17,595 | 30.6  | —     | 98.7 | 26,166   |       |
| 12期(2018年12月10日) | 17,882 | 0  | △5.1 | 16,076 | △8.6  | —     | 98.5 | 24,998   |       |

(注) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注) 各組入比率は純資産総額に対する組入比率です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) 純資産総額は単位未済を切捨て、騰落率、各組入比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 参考指数は、S&P BSE100種指数(ムンバイ100種指数、ローカルベース)をもとに委託者が独自に円換算したもので、設定日当日を10,000として指数化しております。なお、指数化にあたっては、前営業日の同指数を営業日当日の為替を使用し独自に円換算しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日         | 基準価額   |       | 参考指数   |       | 債組入比率 | 券率 | 投資信託組入比率 |
|-------------|--------|-------|--------|-------|-------|----|----------|
|             | 騰落     | 騰落率   | 騰落     | 騰落率   |       |    |          |
| (期首)        | 円      | %     |        | %     | %     | %  | %        |
| 2017年12月11日 | 18,849 | —     | 17,595 | —     | —     | —  | 98.7     |
| 12月末        | 19,419 | 3.0   | 17,961 | 2.1   | —     | —  | 98.2     |
| 2018年1月末    | 19,294 | 2.4   | 18,137 | 3.1   | —     | —  | 98.5     |
| 2月末         | 18,117 | △3.9  | 16,775 | △4.7  | —     | —  | 98.1     |
| 3月末         | 17,715 | △6.0  | 15,941 | △9.4  | —     | —  | 97.9     |
| 4月末         | 19,098 | 1.3   | 16,730 | △4.9  | —     | —  | 97.7     |
| 5月末         | 18,682 | △0.9  | 16,309 | △7.3  | —     | —  | 98.0     |
| 6月末         | 18,577 | △1.4  | 16,174 | △8.1  | —     | —  | 98.3     |
| 7月末         | 19,826 | 5.2   | 17,367 | △1.3  | —     | —  | 98.9     |
| 8月末         | 20,200 | 7.2   | 17,447 | △0.8  | —     | —  | 98.7     |
| 9月末         | 17,876 | △5.2  | 16,291 | △7.4  | —     | —  | 98.9     |
| 10月末        | 16,432 | △12.8 | 14,935 | △15.1 | —     | —  | 98.5     |
| 11月末        | 18,208 | △3.4  | 16,752 | △4.8  | —     | —  | 98.6     |
| (期末)        |        |       |        |       |       |    |          |
| 2018年12月10日 | 17,882 | △5.1  | 16,076 | △8.6  | —     | —  | 98.5     |

(注) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注) 騰落率は期首比で表示しています。

(注) 各組入比率は純資産総額に対する組入比率です。

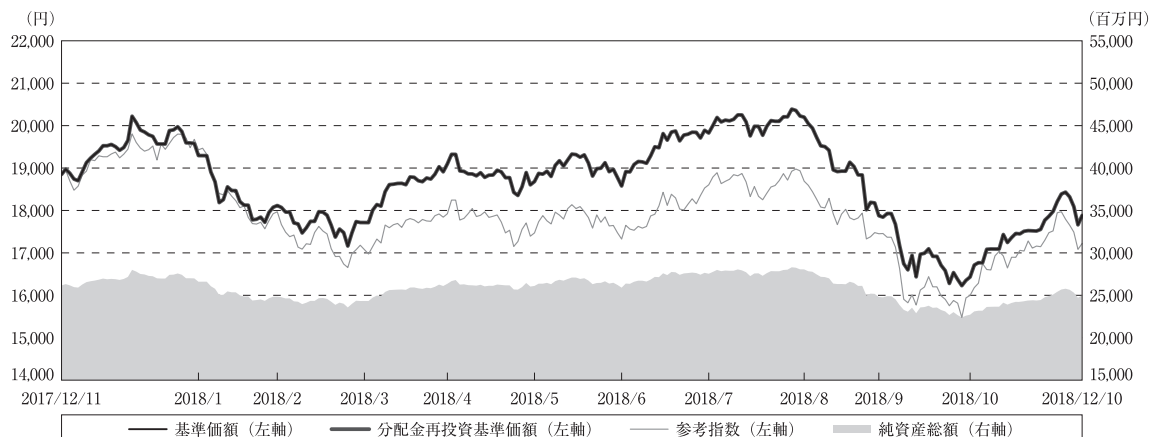
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) 騰落率、各組入比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 参考指数は、S&P BSE100種指数(ムンバイ100種指数、ローカルベース)をもとに委託者が独自に円換算したもので、設定日当日を10,000として指数化しております。なお、指数化にあたっては、前営業日の同指数を営業日当日の為替を使用し独自に円換算しています。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（課税前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2017年12月11日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、上記表示期間に収益分配が行われなかった場合、基準価額と分配金再投資基準価額の推移は同一のものととなります。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当期末の基準価額は17,882円で、前期末比-5.13%で期末を迎えました。

#### <上昇の要因>

- 2018年4月に、米中貿易戦争への懸念が沈静化したことで市場心理が改善し、2月～3月の下落基調に対する反転でインド株式市場が上昇したこと。
- 8月、マクロ面（自動車売上高、実質国内総生産（以下「GDP」といいます）成長率、貸付残高など）やミクロ面（企業収益など）において、上向きの兆候を示しインド株式市場が上昇したこと。
- 11月に、原油価格の下落とインド・ルピーの安定化を受けて、マクロ経済面のリスク要因が後退し、9月～10月にかけての大幅下落の反動によりインド株式市場が上昇したこと。

### <下落の要因>

- ・2018年2月～3月にかけて、米国連邦準備制度理事会（以下「FRB」といいます）による予想より早いペースでの金利引き上げの可能性が高まったこと、および米中貿易戦争の拡大に対する懸念から、世界市場同様にインド株式市場も調整が入り下落したこと。
- ・5月～6月にかけて、世界的な貿易戦争に対する懸念の高まりや原油価格の上昇、主要先進国における金融緩和政策の終了見通しなどにより、エマージング市場からの資金引き上げが続きインド株式市場が下落したこと。
- ・9月～10月、8月下旬のインフラストラクチャー・リーシング・アンド・ファイナンシャル・サービス（以下「IL&FS」といいます）社および関連子会社の債務不履行（デフォルト）を受けて、金融システムにおける流動性危機の懸念と、経済成長に必要な資金の供給力に対する懸念から、インド株式市場が大幅下落したこと。

## 投資環境

### <インド株式市場>

2017年12月8日から2018年12月7日の期間（現地）、S&P BSE Sensex指数は、33,250.30から35,673.25へと7.29%上昇し、期中の最高値は38,896.63、最安値は32,596.54でした。S&P BSE100種指数は10,922.49で期末を迎え、前期末比では1.65%の上昇に留まりました。

FRBは、2016年12月以降、政策金利を段階的に引き上げて2018年9月には2.00%～2.25%と、2008年4月以来の水準となりました。米国のGDP成長率（前期比・年率、以下同じ）は、2018年第2四半期（4月～6月期）に+4.2%となりました。しかしながら、経済成長率は、企業の設備投資と住宅投資の減速から第3四半期（7～9月期）で+3.5%と鈍化しました。米国連邦公開市場委員会（FOMC）では、GDP経済成長率を、2018年に+3.1%、2019年で+2.5%、2020年で+2.0%と予想しています。

国際通貨基金（以下「IMF」といいます）は、米国とその貿易相手国との貿易摩擦が、世界全体の経済活動に影響し始めているとして、世界の経済成長率の予測を引き下げました。IMFによると、2018年と2019年の世界の経済成長率は共に前年比+3.7%となる見通しで、前回予想（同+3.9%）より0.2%引き下げられました。IMFは、2018年の経済成長率を、米国は前年比+2.9%、中国が同+6.6%と、それぞれ前回予想を維持していますが、2019年の見通しについては米国を同+2.5%、中国を同+6.2%に引き下げました。

原油価格は、米国のイラン核合意離脱と米トランプ大統領が石油輸出に経済制裁の発動を要求したため急激に上昇しました。石油輸出国機構（以下「OPEC」といいます）第3位の産油国であるイランによる原油輸出の削減を意図した経済制裁に、イランの原油取引相手国がどう反応するか投資家の注目が集まり、原油価格は急上昇して2014年以来の高値で取引されました。しかしながら、OPECと同盟国による原油増産、日本を含む8ヵ国に対して180日間の猶予期間を認めたこと、OPECによる2019年以降の世界の原油需要の成長見通しの引き下げにより、原油の供給過

剩への懸念を背景に2018年10月から11月にかけて原油価格が急落しました。ブレント原油価格は、2018年10月第1週の1バレル85.45米ドルから当期末時点の1バレル59.97米ドルに下落しました。

2018年度(2018年4月～2019年3月)の国家予算において、インド政府はインフラストラクチャー(以下「インフラ」といいます)建設と地方経済に特に焦点をあてて、財政再建と経済成長を押し上げるための支出増加のバランスを取ろうとしています。予算の大枠は、(1)景気刺激策を推進する中での財政再建、(2)地方経済とインフラ部門への配分拡大を通じた緩やかな景気刺激策、(3)過去2年間で実施された主要な税制改革後の直接税と間接税の税込安定化、の3項目です。

インドのGDP成長率は、2018年度第1四半期(4月～6月期)の前年同期比+8.2%から第2四半期(7月～9月期)には同+7.1%に減速しました。財政支出と投資は二桁成長を更新した一方で、民間消費の弱さと輸入超過により、2018年度第2四半期(7月～9月期)のGDP成長率が鈍化しました。過去数四半期のGDP成長率は、2017年度第2四半期(7月～9月期)が前年同期比+6.3%、2017年度第3四半期(10月～12月期)は同+7.0%、2017年度第4四半期(2018年1月～3月期)が同+7.7%でした。高額紙幣廃止や地方需要の増加の中で消費が維持された一方で、設備稼働率の改善や、企業の売上高の伸びの加速、貸付限度額引き上げにより投資の回復が示唆されました。インドの経済成長率は、2017年度には前年度比+6.7%となり、2016年度の同+7.1%から低下しました。政府は、2018年度の成長予測について、同+7.5%を維持しています。消費者物価指数(以下「CPI」といいます)は、原油価格の上昇とコアCPI(食料品や燃料などの価格変動の大きい品目を除いたCPI)の上昇により、2018年3月の前年同月比+4.28%に対し、2018年6月は同+5.00%に上昇しました。その後、上昇傾向は反転して、食品指数の大幅低下を反映して、2018年10月までにCPIは同+3.38%まで低下しました。しかしながら、コアCPIは依然として高く、原油価格高騰の影響とインド・ルピーの下落により、2018年3月の同+5.23%、およびインド準備銀行(以下「RBI」といいます)が目標とする同+6.0%と比較して、2018年10月で同+6.2%と高い水準となっています。

RBIが、2018年6月に政策金利を0.25%引き上げた後、世界的なコモディティ価格の上昇、インド・ルピー安、経済成長見通しの上昇により、インドのCPIは目標である+4%を、コアCPIは目標である+6%を一貫して超えた水準で推移し、RBIは、8月にも政策金利を0.25%引き上げて6.5%にしました。10月の会合では、政策金利は維持されましたが、CPIの目標である+4%の達成に向け、金融政策のスタンスを「中立」から「引き締め」へと変更しました。RBIは、12月の会合でも、政策金利を変更せず現状を維持しました。CPI予測は、2018年度下半期(2018年10月～2019年3月期)で+2.7%～+3.2%と、10月時点の+3.9%～+4.5%の予測から引き下げて、2019年度上半期(2019年4月～9月期)は、+3.8%～+4.2%としました。経済成長見通しでは、RBIは、2018年度のGDP成長率+7.4%を維持して、2019年度上半期(2019年4月～9月期)は+7.5%と予想しています。

#### <日本短期金融市場>

国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、断続的な日本銀行（以下「日銀」といいます）の買入オペの影響等から、期を通じて0%を下回る水準で推移し、日銀による長短金利操作付き量的・質的金融緩和の影響もあり、期末時点においては-0.2298%程度の水準となりました。

#### <為替市場>

当期中、インド・ルピーは対円で約10.0%下落し、1インド・ルピー1円59銭で期末を迎えました。

### 当ファンドのポートフォリオ

#### <新生・UTIインドファンド>

当ファンドは、主にインド株式へ投資を行うモーリシャス籍の円建て外国投資法人「Shinsei UTI India Fund (Mauritius) Limited」Class A投資証券（以下、「投資先ファンド」といいます）と、主としてわが国の短期公社債および短期金融商品に投資する証券投資信託「新生 ショートターム・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としています。また、基本方針として「投資先ファンド」の組入比率を高位に保つことをめざしています。

当期は、基本方針に従い「投資先ファンド」の組入比率を高位に保つことによって、実質的にインド株式への投資を行うとともに、余裕資金を効率的に運用するために「新生 ショートターム・マザーファンド」受益証券を一部組入れた運用を行いました。

#### <Shinsei UTI India Fund (Mauritius) Limited Class A>

投資先ファンドの株式組入比率は、期を通じて概ね95%以上で推移し、投資先ファンドの基準価額の騰落率は、-3.97%となりました。

当期を通じて、銀行・金融サービスや消費財、ヘルスケア、情報技術などのセクターを中心に投資する一方で、エネルギーや金属などのセクターへの投資は低水準に抑えた運用を行いました。

#### <新生 ショートターム・マザーファンド>

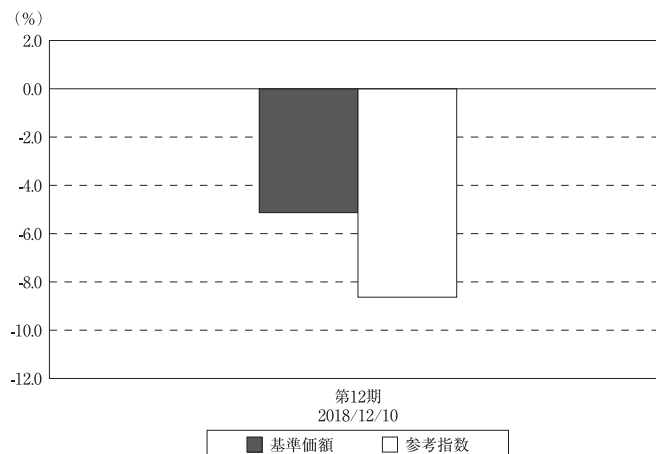
新生 ショートターム・マザーファンドでは、主として国庫短期証券を組入れ、利子等収入の確保を図る方針ですが、日銀による買入オペの影響等により、3ヵ月物の国庫短期証券の利回りがマイナスとなっている状況から、短期金融商品およびコールローンによる運用を行いました。当期において、基準価額に大きな変動はありませんでした。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率比）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（課税前）込みです。

## 分配金

第12期は、「投資先ファンド」の水準等を勘案し、分配を見送ることとしました。収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行いました。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項目                 | 第12期                        |
|--------------------|-----------------------------|
|                    | 2017年12月12日～<br>2018年12月10日 |
| 当期分配金<br>(対基準価額比率) | —<br>—%                     |
| 当期の収益              | —                           |
| 当期の収益以外            | —                           |
| 翌期繰越分配対象額          | 10,941                      |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 分配金は原則として決算日（原則、12月10日。当該日が休業日の場合は翌営業日）から起算して5営業日までに支払いを開始しております。

(注) 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

(注) 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## ○今後の運用方針

---

### <新生・UTIインドファンド>

当ファンドでは引き続き、「投資先ファンド」への投資を通じてインド株式を高位に組入れるとともに、余裕資金を効率的に運用するために「新生 ショートターム・マザーファンド」を一部組入れた運用を行っていく方針です。

### <Shinsei UTI India Fund (Mauritius) Limited Class A>

過去数ヵ月にわたり、米国国債利回りの急上昇（価格は下落）と米中貿易摩擦の懸念による世界的なリスクオフ志向により、主要な株価指数は急激に調整し、特に、中小型株が大きく下落しました。こうした環境下、エマージング市場では株価と通貨ともに大幅に下落しました。インドでは、2018年8月下旬のIL&FS社および関連子会社の債務不履行（デフォルト）を受けて、金融システムにおける流動性危機の懸念と、経済成長に必要な資金の供給力に対する懸念から、インド株式市場は大きく下落しました。ただ、貿易面を中心に海外の状況がマイナス要因となる可能性があるものの、国内の流動性は潤沢で、現時点でノンバンク系企業による負債の返済に支障は生じておらず、国内の状況が一段と悪化を見せる気配はありません。危険要因が払拭されたと結論づけるのは早計ですが、株価の支援材料となるニュースが続き、国内の状況が悪化する気配はありません。

株式市場の調整後、株式市場で過大評価されていた銘柄は大幅に調整されましたが、バリュエーションは、長期的な標準レベルに近づいています。原油価格の落ち着きやインド・ルピーの安定に伴い、様々な外的圧力が減少しています。2018年7月－9月期の企業決算は、成長モメンタムが上向いていることを示しています。過去2～3年と比べて業績成長の速さが、株式市場を押し上げる牽引役になると期待されます。投資先ファンドでは、インドの経済成長を引き続き前向きにみており、今回の株価調整を投資妙味のあるセクターと銘柄選択の機会の増加と捉えています。

投資先ファンドでは、銀行・金融サービスセクター、情報技術セクター、ヘルスケアセクター、消費財セクターについて強気の見方をしている一方で、製造業セクター、鉄鋼セクター、エネルギーセクターについては慎重な見方をしています。

銀行・金融サービスセクターについては、インド国内で銀行・金融サービスの浸透余地があるとみています。このセクターでは、資産の質も優れており資産収益率も高く、着実に市場のシェアを増加させている民間銀行を選好しています。投資先ファンドでは、バジャジ・ファイナンスや、HDFC銀行、GRUHファイナンスのような資産内容が良好なノンバンク系企業をポートフォリオに組入れています。これらの企業は、流動性に関する諸問題には直面していません。またイエス銀行も引き続き保有しており、近く予定されている最高経営責任者（CEO）交代に伴う同社の動向を注視しています。

消費財セクターは、今後の成長性と堅調なキャッシュフローの両面において、最も期待できるセクターであるとみています。物品サービス税（以下「GST」といいます）導入後の経済の安定化を背景に、消費財企業は高成長を見せ始めています。2018年度予算で示された最低支持価格（MSP）の引き上げは、地方経済の活性化を狙ったものであり、消費財セクター全体に良い前兆となります。投資先ファンドでは、それぞれの市場シェアを伸ばし続けている各セクターのトップ企業に投資をしていきます。GSTの導入については、対応に苦慮すると思われる組織化が進んでいない企業が



ら、組織化が進んでいる企業がシェアを奪うようになると考えられるため、中長期的にはポジティブに見ています。

米ガートナー社によると、世界全体の情報技術（以下「IT」といいます）投資は、2007年以来最も高い総額3兆7,000億米ドル、前年比+6.2%が計画されており、投資先ファンドでは、情報技術セクターをポジティブに見ています。世界経済が順調で、かつデジタル・テクノロジーが単なる概念の段階を通過したことで、IT企業は、大型の複数年契約を締結していき、今後、売上高を伸ばしていくと考えられます。インドのIT企業のデジタル・ビジネスの利益貢献は、今後数年は着実に増加が見込まれており、その企業の成長率全体を押し上げることに繋がります。インド・ルピーの下落による恩恵はIT企業の再投資に活用され、未来のテクノロジーの採用を通じて顧客企業との関係維持に繋がります。

ヘルスケアセクターは、長期的な見通しが堅調なことからポジティブに見ています。米国のジェネリック市場では、薬価が安定しつつあり、インドの製薬企業にとって良い前兆と言えます。サン・ファーマシューティカルやルピンといった企業は、複雑なジェネリック医薬品や競争が限られている専門医薬品での商機を狙って、既に研究開発にかなりの投資をしています。最近のインド・ルピー安は、売上高と利益率双方の点でヘルスケアセクターに有利に働いています。投資先ファンドのポートフォリオでは、ヘルスケアセクターについて、特定地域への集中によるリスクを避けるため、インド国内を中心とする企業や米国に特化した企業、研究製造業務受託サービス（CRAMS）企業などを組入れています。

投資先ファンドでは、エネルギーセクターに慎重な見方をしています。このセクターは、概して資本支出が多額でかつ総資本利益率が低く、景気変動に収益が影響されやすいセクターです。政府は燃料の価格決定の規制を緩和しましたが、石油販売会社は燃料の販売では十分な利益を得られていません。

投資先ファンドでは、製造業セクターは工業生産の回復に対する期待から株価が上昇したことで、現時点では割高感があるとみています。設備稼働率の改善は、需要増加という形で製造業セクターの企業にプラスに働きますが、その結果、これら企業のバリュエーションは割高になる可能性があります。投資先ファンドでは、景気変動の影響を受け易いこれら企業への投資は基本的に避けています。

金属セクターについては、世界的な需要動向に全面的に左右されると考えられるため、注意深く見ていきます。長期にわたり、金属市況の牽引役であった中国からの需要が、引き続き伸び悩んでいます。投資先ファンドでは、利益率もあまり高くなく、ほとんどの企業で価格変動性が高いこのセクターを引き続きアンダーウェイトとしていきます。

#### <新生 ショートターム・マザーファンド>

今後もしばらくの間、日銀は国内外の動向を注視しながら物価上昇率2%をめざして金融緩和を継続していくものと想定しており、引き続き低水準の金利環境が続くとみています。マザーファンドでは、引き続き国庫短期証券3ヵ月物を中心に投資し、安定した収益の確保をめざしていく方針ですが、日銀による長短金利操作付き量的・質的金融緩和の影響等から、国庫短期証券3ヵ月物の利回りがマイナスとなっている状況においては、他の短期金融商品等による運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年12月12日～2018年12月10日)

| 項 目                   | 当 期    |         | 項 目 の 概 要                                     |
|-----------------------|--------|---------|---|
|                       | 金 額    | 比 率     |   |
| (a) 信 託 報 酬           | 229    | 1.228   | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率                      |
| （ 投 信 会 社 ）           | ( 78 ) | (0.420) | 委託した資金の運用の対価                                  |
| （ 販 売 会 社 ）           | (140)  | (0.754) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の<br>情報提供等の対価 |
| （ 受 託 会 社 ）           | ( 10 ) | (0.054) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価                       |
| (b) そ の 他 費 用         | 3      | 0.017   | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数                 |
| （ 監 査 費 用 ）           | ( 0 )  | (0.003) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用                   |
| （ 印 刷 ）               | ( 3 )  | (0.014) | 法定開示資料の印刷にかかる費用                               |
| （ そ の 他 ）             | ( 0 )  | (0.000) | 信託事務の処理等に要する諸費用                               |
| 合 計                   | 232    | 1.245   |   |
| 期中の平均基準価額は、18,620円です。 |        |         |   |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年12月12日～2018年12月10日)

### 投資信託証券

| 銘柄          |  | 買付  |         | 売付  |         |
|-------------|--|-----|---------|-----|---------|
|             |  | 口数  | 金額      | 口数  | 金額      |
| 外国<br>(邦貨建) | Shinsei UTI India Fund (Mauritius) Limited Class A | 千口  | 千円      | 千口  | 千円      |
|             |  | 343 | 780,000 | 435 | 970,000 |

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未满是切捨てて表示しています。

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘柄 |                 | 設定 |    | 解約     |        |
|----|-----------------|----|----|--------|--------|
|    |                 | 口数 | 金額 | 口数     | 金額     |
| 新生 | ショートターム・マザーファンド | 千口 | 千円 | 千口     | 千円     |
|    |                 | —  | —  | 19,654 | 20,000 |

(注) 単位未满是切捨てて表示しています。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年12月12日～2018年12月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2018年12月10日現在)

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

| 銘柄   |  | 期首(前期末) | 当期末    |            |      |
|--|--|---------|--------|------------|------|
|  |  | 口数      | 口数     | 評価額        | 比率   |
| Shinsei UTI India Fund (Mauritius) Limited Class A |  | 千口      | 千口     | 千円         | %    |
|  |  | 11,391  | 11,300 | 24,612,542 | 98.5 |
| 合計   |  | 11,391  | 11,300 | 24,612,542 | 98.5 |

(注) 口数・評価額の単位未满是切捨てて表示しています。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、小数点第2位を四捨五入して表示しています。

## 親投資信託残高

| 銘 柄                | 期首(前期末) | 当 期 末   |         |
|--------------------|---------|---------|---------|
|                    | 口 数     | 口 数     | 評 価 額   |
|                    | 千口      | 千口      | 千円      |
| 新生 ショートターム・マザーファンド | 133,460 | 113,806 | 115,798 |

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てて表示しています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照下さい。

## ○投資信託財産の構成

(2018年12月10日現在)

| 項 目                | 当 期 末      |       |
|--------------------|------------|-------|
|                    | 評 価 額      | 比 率   |
|                    | 千円         | %     |
| 投資証券               | 24,612,542 | 97.5  |
| 新生 ショートターム・マザーファンド | 115,798    | 0.5   |
| コール・ローン等、その他       | 507,466    | 2.0   |
| 投資信託財産総額           | 25,235,806 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する評価額の割合で、小数点第2位を四捨五入して表示しています。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年12月10日現在)

| 項 目                     | 当 期 末           |
|-------------------------|-----------------|
|                         | 円               |
| (A) 資産                  | 25,235,806,770  |
| コール・ローン等                | 507,465,385     |
| 投資証券(評価額)               | 24,612,542,886  |
| 新生 ショートターム・マザーファンド(評価額) | 115,798,499     |
| (B) 負債                  | 236,969,979     |
| 未払解約金                   | 75,987,755      |
| 未払信託報酬                  | 158,738,211     |
| 未払利息                    | 1,387           |
| その他未払費用                 | 2,242,626       |
| (C) 純資産総額(A-B)          | 24,998,836,791  |
| 元本                      | 13,979,796,429  |
| 次期繰越損益金                 | 11,019,040,362  |
| (D) 受益権総口数              | 13,979,796,429口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D)         | 17,882円         |

(注) 当作成期運用報告書作成時点では監査未了です。

(注) 当ファンドの期首元本額は13,882,190,950円、期中追加設定元本額は3,092,760,334円、期中一部解約元本額は2,995,154,855円です。

(注) 1口当たり純資産額は1,7882円です。

○損益の状況 (2017年12月12日～2018年12月10日)

| 項 目              | 当 期               |
|------------------|-------------------|
|                  | 円                 |
| (A) 配当等収益        | △ 407,951         |
| 受取利息             | 48                |
| 支払利息             | △ 407,999         |
| (B) 有価証券売買損益     | △ 1,020,368,207   |
| 売買益              | 130,995,444       |
| 売買損              | △ 1,151,363,651   |
| (C) 信託報酬等        | △ 321,800,353     |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △ 1,342,576,511   |
| (E) 前期繰越損益金      | 7,520,039,689     |
| (F) 追加信託差損益金     | 4,841,577,184     |
| (配当等相当額)         | ( 7,776,374,311)  |
| (売買損益相当額)        | (△ 2,934,797,127) |
| (G) 計(D+E+F)     | 11,019,040,362    |
| (H) 収益分配金        | 0                 |
| 次期繰越損益金(G+H)     | 11,019,040,362    |
| 追加信託差損益金         | 4,841,577,184     |
| (配当等相当額)         | ( 7,776,374,311)  |
| (売買損益相当額)        | (△ 2,934,797,127) |
| 分配準備積立金          | 7,520,318,711     |
| 繰越損益金            | △ 1,342,855,533   |

(注) 当作成期運用報告書作成時点では監査未了です。

(注) 損益の状況の中で**(B) 有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で**(C) 信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で**(F) 追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0.0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、収益調整金(7,776,374,311円)および分配準備積立金(7,520,318,711円)より分配対象収益は15,296,693,022円(10,000口当たり10,941円)ですが、当期に分配した金額はありません。

# 新生 ショートターム・マザーファンド

## 運用報告書

### 第12期

決算日 2018年12月10日

(計算期間：2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当マザーファンドの仕組みは次のとおりです。

|        |   |
|--------|---|
| 運用方針   | わが国の短期公社債および短期金融商品に投資を行い、利子等収益の確保を図り、信託財産の安定的な収益の確保を図ることを目的として運用を行います。  |
| 主要運用対象 | わが国の短期公社債および短期金融商品  |
| 組入制限   | <p>①外貨建て資産への投資は行いません。</p> <p>②先物取引等は価格変動リスクおよび金利変動リスクを回避するため行うことができます。</p> <p>③スワップ取引は金利変動リスクを回避するため行うことができます。</p> <p>④委託者は、デリバティブ取引等（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、新株予約権証券、新投資口予約権証券またはオプションを表示する証券もしくは証書にかかる取引および選択権付債券売買を含みます。）について、一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、投資信託財産の純資産総額を超えることとなる投資の指図をしません。</p> <p>⑤一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</p> |

## ○最近5期の運用実績

| 決算期              | 基準価額   |      | 参考指数   |      | 債組入比率 | 純資産総額 |
|------------------|--------|------|--------|------|-------|-------|
|                  | 円      | 騰落率  | 騰落率    | 中率   |       |       |
| 8期(2014年12月10日)  | 10,179 | 0.0  | 10,181 | 0.0  | 98.5  | 182   |
| 9期(2015年12月10日)  | 10,179 | 0.0  | 10,181 | 0.0  | —     | 244   |
| 10期(2016年12月12日) | 10,179 | 0.0  | 10,166 | △0.1 | —     | 248   |
| 11期(2017年12月11日) | 10,177 | △0.0 | 10,145 | △0.2 | —     | 248   |
| 12期(2018年12月10日) | 10,175 | △0.0 | 10,136 | △0.1 | —     | 208   |

(注) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注) 組入比率は純資産総額に対する組入比率です。

(注) 純資産総額は単位未満を切捨て、騰落率、組入比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 参考指数は国庫短期証券3ヵ月物の利回りをもとに委託者が独自に算出した指数で、当初設定日を10,000として指数化しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日                 | 基準価額   |      | 参考指数   |      | 債組入比率 |
|---------------------|--------|------|--------|------|-------|
|                     | 円      | 騰落率  | 騰落率    | 中率   |       |
| (期首)<br>2017年12月11日 | 10,177 | —    | 10,145 | —    | —     |
| 12月末                | 10,177 | 0.0  | 10,145 | △0.0 | —     |
| 2018年1月末            | 10,177 | 0.0  | 10,145 | △0.0 | —     |
| 2月末                 | 10,176 | △0.0 | 10,145 | △0.0 | —     |
| 3月末                 | 10,176 | △0.0 | 10,145 | △0.0 | —     |
| 4月末                 | 10,176 | △0.0 | 10,144 | △0.0 | —     |
| 5月末                 | 10,176 | △0.0 | 10,143 | △0.0 | —     |
| 6月末                 | 10,176 | △0.0 | 10,142 | △0.0 | —     |
| 7月末                 | 10,176 | △0.0 | 10,140 | △0.0 | —     |
| 8月末                 | 10,175 | △0.0 | 10,139 | △0.1 | —     |
| 9月末                 | 10,175 | △0.0 | 10,138 | △0.1 | —     |
| 10月末                | 10,175 | △0.0 | 10,137 | △0.1 | —     |
| 11月末                | 10,175 | △0.0 | 10,137 | △0.1 | —     |
| (期末)<br>2018年12月10日 | 10,175 | △0.0 | 10,136 | △0.1 | —     |

(注) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注) 騰落率は期首比で表示しています。

(注) 組入比率は純資産総額に対する組入比率です。

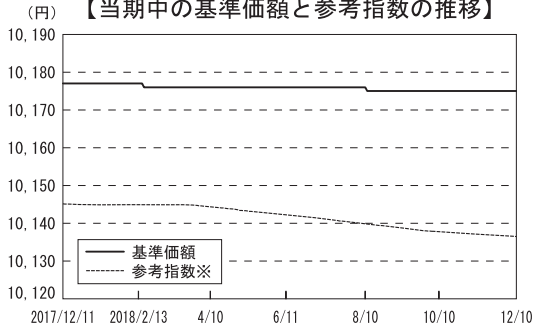
(注) 騰落率、組入比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 参考指数は国庫短期証券3ヵ月物の利回りをもとに委託者が独自に算出した指数で、当初設定日を10,000として指数化しております。

## ○当期の運用経過

(2017年12月12日～2018年12月10日)

### 【当期中の基準価額と参考指数の推移】



※参考指数は、国庫短期証券3ヵ月物の利回りをもとに委託者が独自に算出した指数で、当初設定日を10,000として指数化しております。

### 【基準価額の推移】

基準価額は期首10,177円、期末10,175円となりました。

### 【市況環境】

国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、断続的な日本銀行(以下「日銀」といいます)の買入オペの影響等から、期を通じて0%を下回る水準で推移し、日銀による長短金利操作付き量的・質的金融緩和の影響もあり、期末時点においては-0.2298%程度の水準となりました。

### 【運用状況】

「新生 ショートターム・マザーファンド」では、主として国庫短期証券を組入れ、利子等収入の確保を図る方針ですが、日銀による買入オペの影響等により、3ヵ月物の国庫短期証券の利回りがマイナスとなっている状況から、短期金融商品およびコールローンによる運用を行いました。当期において、基準価額に大きな変動はありませんでした。

### 【今後の運用環境の見通しと運用方針】

今後もしばらくの間、日銀は国内外の動向を注視しながら物価上昇率2%をめざして金融緩和を継続していくものと想定しており、引き続き低水準の金利環境が続くとみています。当ファンドでは、引き続き国庫短期証券3ヵ月物を中心に投資し、安定した収益の確保をめざしていく方針ですが、日銀による長短金利操作付き量的・質的金融緩和の影響等から、国庫短期証券3ヵ月物の利回りがマイナスとなっている状況においては、他の短期金融商品等による運用を行う方針です。



○1万口当たりの費用明細

(2017年12月12日～2018年12月10日)

| 項 目                        | 当 期           |                       | 項 目 の 概 要                                       |
|----------------------------|---------------|-----------------------|---|
|                            | 金 額           | 比 率                   |   |
| (a) そ の 他 費 用<br>( そ の 他 ) | 円<br>0<br>(0) | %<br>0.000<br>(0.000) | (a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数<br>信託事務の処理等に要する諸費用 |
| 合 計                        | 0             | 0.000                 |   |
| 期中の平均基準価額は、10,175円です。      |               |                       |   |

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年12月12日～2018年12月10日)

その他有価証券

|    |             | 買 付 額      | 売 付 額      |
|----|-------------|------------|------------|
|    |             | 千円         | 千円         |
| 国内 | コマーシャル・ペーパー | 49,199,974 | 49,199,975 |

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てて表示しています。

○利害関係人との取引状況等

(2017年12月12日～2018年12月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年12月10日現在)

国内その他有価証券

| 区 分         | 銘 柄       | 当 期 末         |           |
|-------------|-----------|---------------|-----------|
|             |           | 評 価 額         | 比 率       |
| コマーシャル・ペーパー | T&Dリース CP | 千円<br>199,999 | %<br>95.7 |

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 単位未満は切捨てて表示しています。

○投資信託財産の構成

(2018年12月10日現在)

| 項 目          | 当 期 末         |           |
|--------------|---------------|-----------|
|              | 評 価 額         | 比 率       |
| その他有価証券      | 千円<br>199,999 | %<br>95.7 |
| コール・ローン等、その他 | 8,920         | 4.3       |
| 投資信託財産総額     | 208,919       | 100.0     |

(注) 評価額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する評価額の割合で、小数点第2位を四捨五入して表示しています。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年12月10日現在)

| 項 目             | 当 期 末        | 円 |
|-----------------|--------------|---|
| (A) 資産          | 208,919,049  |   |
| コール・ローン等        | 8,919,080    |   |
| その他有価証券(評価額)    | 199,999,969  |   |
| (B) 負債          | 24           |   |
| 未払利息            | 24           |   |
| (C) 純資産総額(A-B)  | 208,919,025  |   |
| 元本              | 205,318,743  |   |
| 次期繰越損益金         | 3,600,282    |   |
| (D) 受益権総口数      | 205,318,743口 |   |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 10,175円      |   |

〈注記事項〉

|                                  |              |
|----------------------------------|--------------|
| 期首元本額                            | 244,626,922円 |
| 期中追加設定元本額                        | 0円           |
| 期中一部解約元本額                        | 39,308,179円  |
| 1口当たり純資産額                        | 1.0175円      |
| 期末における元本の内訳                      |              |
| 新生・UTIインドファンド                    | 113,806,879円 |
| 新生・フラトンVPICFファンド                 | 39,013,729円  |
| 米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース | 26,528,965円  |
| 新生・UTIインドインフラ関連株式ファンド            | 7,097,650円   |
| 新生・世界スマート債券ファンド 1409             | 982,512円     |
| 新生・ワールドラップ・セレクト                  | 982,415円     |
| 新生・世界スマート債券ファンド 1511             | 982,415円     |
| 新生・ワールドラップ・ファンド(成長コース) 1511      | 982,415円     |
| 新生・ワールドラップ・ファンド(安定コース) 1511      | 982,415円     |
| 新生・ワールドラップ・ファンド(成長コース) 1510      | 982,415円     |
| 新生・ワールドラップ・ファンド(安定コース) 1510      | 982,415円     |
| 新生・ワールドラップ・ファンド(成長コース) 1508      | 982,415円     |
| 新生・ワールドラップ・ファンド(安定コース) 1508      | 982,415円     |
| 新生・世界スマート債券ファンド 1508             | 982,415円     |
| 新生・世界スマート債券ファンド 1506             | 982,415円     |
| 新生・世界スマート債券ファンド 1503             | 982,415円     |
| 新生・世界スマート債券ファンド 1502             | 982,415円     |
| 新生・ワールドラップ・ファンド(安定コース) 1602      | 982,319円     |
| 新生・ワールドラップ・ファンド(成長コース) 1602      | 982,319円     |
| 新生・ワールドラップ・ファンド(安定コース) 1603      | 982,319円     |
| 新生・ワールドラップ・ファンド(成長コース) 1603      | 982,319円     |
| 新生・世界スマート債券ファンド 1411             | 982,319円     |
| 米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式コース    | 982,125円     |
| グローバル・ナビゲーター(限定追加型)              | 206,308円     |

○損益の状況 (2017年12月12日～2018年12月10日)

| 項 目            | 当 期       | 円 |
|----------------|-----------|---|
| (A) 配当等収益      | △ 33,221  |   |
| 受取利息           | 1,210     |   |
| 支払利息           | △ 34,431  |   |
| (B) 保管費用等      | △ 1,008   |   |
| (C) 当期損益金(A+B) | △ 34,229  |   |
| (D) 前期繰越損益金    | 4,326,332 |   |
| (E) 解約差損益金     | △ 691,821 |   |
| (F) 計(C+D+E)   | 3,600,282 |   |
| 次期繰越損益金(F)     | 3,600,282 |   |

(注) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<参考情報> 投資対象ファンドの概要

|           |   |  |
|-----------|---|--|
| ファンド名     | Shinsei UTI India Fund (Mauritius) Limited Class A投資証券  |  |
| 形態        | モーリシャス籍の円建て外国投資法人   |  |
| 運用の基本方針   | 成長性の高いインド株式を主要投資対象とし、中長期的な信託財産の成長をめざした運用を行います。  |  |
| 主な投資対象    | ボンベイ証券取引所またはナショナル証券取引所に上場する株式等を主要投資対象とします。ただし、直接投資に加えて、預託証券*を用いた投資も行うことがあります。   |  |
| ファンドの関係法人 | 運用会社  | UTI Investment Management Company (Mauritius) Limited        |
|           | 運用助言者   | UTI ASSET MANAGEMENT COMPANY LIMITED                         |
|           | 管理会社  | Deutsche International Trust Corporation (Mauritius) Limited |
| ファンドの特徴   | <p>1. 主として、ボンベイ証券取引所またはナショナル証券取引所に上場する株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざした運用を行います。</p> <p>2. マクロ経済や、セクター見通しの分析によるトップダウン・アプローチ、個別企業の予想P E Rなどの定量分析や、成長性などの定性分析によるボトムアップ・アプローチにより、ポートフォリオを構築します。</p> <p>3. 運用会社であるUTI Investment Management Company (Mauritius) Limited は、UTI ASSET MANAGEMENT COMPANY LIMITED からの投資助言をもとに運用を行います。</p> <p>* 当ファンドは純資産総額の10%を超えて借入れを行いません。</p> |  |
| 手数料等      | 申込手数料   | 申込手数料はかかりません。  |
|           | 運用報酬および管理報酬等  | 年率0.8% (上限)  |
| 決算日       | 毎年3月31日   |  |

\* 預託証券とは、企業の株式を海外でも流通させるために、企業の株式を現地の銀行等に預託し、預託を受けた現地の銀行等が株式の代替として発行する証券のことをいいます。預託証券は株式と同様に金融商品取引所等で取引されます。

損益計算書(2018年3月31日に終了した会計年度)

|                            | 2018年3月31日に<br>終了した会計年度<br>日本円 |
|----------------------------|--------------------------------|
| 〈収入〉                       |                                |
| 配当収入                       | 174,436,100                    |
| 売買目的投資売却益                  | 2,345,705,097                  |
| 外国為替に関する未実現(損失)/利益         | (30,458,464)                   |
|                            | 2,489,682,733                  |
| 〈費用〉                       |                                |
| 管理事務代行及び評価手数料              | 16,372,405                     |
| 取締役経費                      | 269,156                        |
| 運用報酬                       | 170,111,138                    |
| 保管報酬                       | 7,045,966                      |
| 監査報酬                       | 988,697                        |
| ライセンス・フィー                  | 247,837                        |
| 保険料                        | —                              |
| 専門家手数料                     | 776,132                        |
| 銀行費用                       | 237,044                        |
| 外国為替取引純損失                  | —                              |
|                            | 196,048,375                    |
| 税引前利益                      | 2,293,634,358                  |
| 法人税                        | (9,366,450)                    |
| 当期利益                       | 2,284,267,908                  |
| その他包括利益                    |                                |
| 翌期に利益もしくは損失に再分類されるその他包括利益  |                                |
| 売買目的投資における純利益              | 337,498,856                    |
| 翌期に利益もしくは損失に再分類されるその他包括純利益 | 337,498,856                    |
| 営業上の償還可能優先株の保有者に帰属する純資産の純減 | 2,621,766,764                  |

組入銘柄明細表（2018年3月末現在）

| 銘柄                             | 株数<br>(百株) | 評価額                 |               | 構成比<br>(%) |
|--------------------------------|------------|---------------------|---------------|------------|
|                                |            | 外貨建金額<br>(千インド・ルピー) | 邦貨建金額<br>(千円) |            |
| <セメント・建設資材>                    |            |                     |               |            |
| ASTRA POLY TECH                | 4,312      | 386,266             | 627,667       | 2.6%       |
| SHREE CEMENT LTD               | 221        | 358,388             | 582,366       | 2.4%       |
| <ヘルスケア>                        |            |                     |               |            |
| AJANTA PHARMA LTD              | 1,140      | 160,277             | 260,443       | 1.1%       |
| CADILA HEALTHCARE LIMITED FV 1 | 6,591      | 249,556             | 405,519       | 1.7%       |
| DIVI'S LABORATORIES LTD        | 2,559      | 278,840             | 453,104       | 1.9%       |
| DR. LAL PATH LAB               | 2,421      | 211,814             | 344,189       | 1.4%       |
| Eris Lifescience Ltd           | 798        | 63,404              | 103,029       | 0.4%       |
| IPCA LABORATORIES LTD          | 2,224      | 145,665             | 236,699       | 1.0%       |
| LUPIN LTD                      | 1,948      | 143,458             | 233,114       | 1.0%       |
| SUN PHARMACEUTICAL INDUS       | 4,998      | 247,597             | 402,335       | 1.7%       |
| SYNGENE INTERNATIONAL LTD.     | 800        | 47,104              | 76,542        | 0.3%       |
| TORRENT PHARMACEUTICALS LTD    | 1,988      | 248,137             | 403,213       | 1.7%       |
| <化学>                           |            |                     |               |            |
| PI INDUSTRIES LTD              | 2,305      | 204,631             | 332,517       | 1.4%       |
| <金属・鉱業>                        |            |                     |               |            |
| HINDUSTAN ZINC LTD             | 7,298      | 219,645             | 356,915       | 1.5%       |
| <銀行・金融サービス>                    |            |                     |               |            |
| AU Small Finance Bank Limited  | 1,600      | 98,872              | 160,663       | 0.7%       |
| BAJAJ FINANCE LIMITED FV INR 2 | 5,552      | 982,601             | 1,596,686     | 6.7%       |
| City Union Bank Limited        | 5,760      | 99,418              | 161,550       | 0.7%       |
| ECLERX SERVICES LTD            | 2,363      | 284,332             | 462,028       | 1.9%       |
| Gruh Finance Ltd               | 6,485      | 374,308             | 608,236       | 2.6%       |
| HDFC BANK LIMITED              | 3,770      | 713,141             | 1,158,825     | 4.9%       |
| HOUSING DEVELOPMENT FINANCE    | 2,374      | 433,030             | 703,657       | 3.0%       |
| INDUSIND BANK LTD              | 4,787      | 859,557             | 1,396,746     | 5.9%       |
| KOTAK MAHINDRA BANK LTD        | 4,790      | 502,288             | 816,197       | 3.4%       |
| YES BANK LIMITED FV INR 2      | 22,584     | 688,597             | 1,118,942     | 4.7%       |
| <資本財>                          |            |                     |               |            |
| GRINDWELL NORTON LTD           | 3,872      | 195,577             | 317,805       | 1.3%       |
| THERMAX LTD                    | 1,040      | 117,614             | 191,118       | 0.8%       |
| <自動車・自動車部品>                    |            |                     |               |            |
| AMARA RAJA BATTERIES LTD       | 2,645      | 210,939             | 342,767       | 1.4%       |
| EICHER MOTORS LTD              | 78         | 221,028             | 359,162       | 1.5%       |
| Endurance Technologies LTD     | 1,774      | 224,103             | 364,159       | 1.5%       |
| IGARASHI MOTORS INDIA LTD.     | 914        | 73,821              | 119,957       | 0.5%       |
| MARUTI SUZUKI INDIA LTD        | 437        | 387,098             | 629,019       | 2.6%       |
| MOTHERSON SUMI SYSTEMS LTD     | 12,101     | 377,241             | 613,002       | 2.6%       |
| SCHAEFFLER INDIA LIMITED       | 370        | 190,961             | 310,303       | 1.3%       |

| 銘柄                        | 株数<br>(百株) | 評価額                 |               | 構成比<br>(%) |         |
|---------------------------|------------|---------------------|---------------|------------|---------|
|                           |            | 外貨建金額<br>(千インド・ルピー) | 邦貨建金額<br>(千円) |            |         |
| <b>&lt;消費財&gt;</b>        |            |                     |               |            |         |
| BERGER PAINTS INDIA LTD   | 4,420      | 113,351             | 184,191       | 0.8%       |         |
| CERA SANITARYWARE LTD     | 303        | 104,415             | 169,670       | 0.7%       |         |
| DABUR INDIA LTD           | 3,991      | 130,512             | 212,077       | 0.9%       |         |
| EMAMI LIMITED             | 1,674      | 178,810             | 290,559       | 1.2%       |         |
| ITC LTD                   | 11,028     | 282,194             | 458,553       | 1.9%       |         |
| JUBILANT FOODWORKS LTD    | 1,260      | 293,158             | 476,370       | 2.0%       |         |
| MARICO LTD                | 4,655      | 151,787             | 246,647       | 1.0%       |         |
| NESTLE INDIA LTD          | 122        | 100,386             | 163,123       | 0.7%       |         |
| PAGE INDUSTRIES LTD       | 125        | 282,719             | 459,407       | 1.9%       |         |
| PIDILITE INDUSTRIES LTD   | 1,698      | 155,993             | 253,483       | 1.1%       |         |
| Sheela Foam Limited       | 1,156      | 172,693             | 280,619       | 1.2%       |         |
| Symphony Ltd              | 1,589      | 284,106             | 461,661       | 1.9%       |         |
| TITAN COMPANY LIMITED     | 2,769      | 260,610             | 423,480       | 1.8%       |         |
| <b>&lt;情報技術サービス&gt;</b>   |            |                     |               |            |         |
| INFO EDGE INDIA LTD       | 2,492      | 290,803             | 472,543       | 2.0%       |         |
| INFOSYS LTD               | 5,226      | 592,848             | 963,353       | 4.0%       |         |
| MINDTREE LTD              | 4,997      | 386,763             | 628,474       | 2.6%       |         |
| TATA CONSULTANCY SVCS LTD | 1,422      | 405,290             | 658,580       | 2.8%       |         |
| <b>&lt;電力・電気設備&gt;</b>    |            |                     |               |            |         |
| HAVELLS INDIA LTD         | 3,894      | 189,927             | 308,624       | 1.3%       |         |
| 合計                        | 評価額        | —                   | 14,375,674    | 23,359,886 | —       |
|                           | 銘柄数<比率>    | 51                  | —             | —          | <98.0%> |

(注) 評価額は、2018年3月末現在の評価額です。

(注) 構成比(%)は、資産(ネット)に対する市場価格構成比です。

(注) 業種はUTIアセット・マネジメントの業種区分に基づいています。

(注) データ提供元: Deutsche International Trust Corporation (Maritius) Limited (同社は投資先ファンドの管理会社です。)

(注) 銘柄明細は、Shinsei UTI India Fund (Mauritius) Limited Class Aについての情報です。